

# 米国の乳牛における 高病原性鳥インフルエンザ(H5N1亜型)感染事例

## 【概要】

令和6年3月、米国カンザス州及びテキサス州の乳牛において HPAI ウイルス(H5N1 亜型)の陽性が確認され、その後、複数の州の農場(すべて乳牛)で感染が確認されています。

感染牛における、主な症状は泌乳量の減少、食欲低下等です。致死性である鶏への感染と異なり、感染牛の症状は比較的軽く、10 日程度で回復するとされています。

野生の渡り鳥がウイルスのもともとの由来と考えられていますが、乳牛では、乳中に多くのウイルスが検出されることから、搾乳作業を介してウイルスが伝播すると考えられています。

これまでの解析結果によると、人への感染性を上昇させるような遺伝子変異は見られていないということです。



## 注意のポイント

○乳量減少、食欲低下等が見られた場合には群から隔離し  
獣医師または家畜保健衛生所にご相談ください

○野鳥等からの感染防止のため、基本的な飼養衛生管理の  
徹底をお願いします

- ✓ 畜舎出入り時の長靴・手指消毒
- ✓ 餌槽・給水設備・飼料保管場所への野鳥等の排せつ物混入防止
- ✓ 飼養衛生管理区域周辺への石灰散布

異常をみつけた場合には直ちに山梨県東部家畜保健衛生所まで

電話・・・055-262-3166 FAX・・・055-262-3108

夜間、土日・休日の連絡は・・・090-5535-8005・090-5544-7868